



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

呼吸器外科のご紹介 — 当科で行っている肺がん治療について —

呼吸器外科 部長 鈴木 弘行



肺がんは年々増加の一途を辿り、現在年間7万人の方がこの病気で亡くなっています。最新のデータではがん死亡の第一位を占め、肺がん治療成績の向上は本邦のがん治療における最大課題の一つです。この難敵を手術によって治療することが、我々呼吸器外科の主な仕事です。現在当科では、年間約100例の肺がん手術を行っております。我々の行っている手術をご紹介しますと、まず比較的早期の患者さんに対しては、胸腔鏡という内視鏡の一種を用い、小さな創（きず）で手術を行います（いわゆる内視鏡手術）。この手術は痛みが少なく日常生活への復帰も早いのが特徴です。もちろん治療成績は従来の開胸手術と同等か、より良いものです。一方、やや進行した患者さんに

も、決してあきらめることなく、創を広げて行う拡大手術も積極的にっております。

私達の重要な仕事は外科治療ですが、肺がんは決して与し易い敵ではありません。そこで我々は手術に加え、各種抗がん剤治療や免疫療法といった最新の治療も駆使して肺がんと日々戦っています。肺がんの治療は日進月歩であり次々と新しい治療法の開発が行われていますが、我々は、県内はもとより国内外の施設と密接に連携を取り、治験や臨床試験を通して新しい治療法の開発にも積極的に関わっています。

私達は肺がん治療を通して本県そして我が国の医療のさらなる向上に貢献したいと強く願っています。また、患者さんに対しては「優しくあきらめない治療」を提供できるよう努力しています。これからも笑顔を忘れずにスタッフ一丸となって肺がんと戦って参ります。

病棟や外来で呼吸器外科のスタッフを見かけましたら、どうぞお気軽に声をかけて下さい。きっと笑顔でお応えいたします。

玄関ホールにクリスマスツリー

病院ボランティアの皆さんのご協力により今年も11月27日から12月25日までの約1ヶ月間、玄関ホールにクリスマスツリーを設置いたしました。

今年は、音符のオーナメントも飾られ、病院が明るく和やかな雰囲気になると大変ご好評をいただき、患者さんや来院される皆様

方を楽しませていました。

クリスマスツリーは、ボランティアで院内のフラワーアレンジメント教室「花*花*くらぶ」の講師をされている池田久美子さんと、患者会「ピンクのリボン」会員の方々が8年前から設置くださっています。高さ1.6メートルのクリスマスツリーと飾りは、すべて池田さんからご提供いただいたものです。心より御礼申し上げます。



第21号のなかみ

- 2ページ……○「パンダハウス」チャリティーバザーが開催されました
 - 語りと音楽 癒しの時間
 - 「地域連携」を進めています
 - 仮設駐車場整備について
- 3ページ……○食事で風邪予防を
 - より高精度な放射線治療「IMRT」が可能になりました
 - 医事課栄養管理係の活動報告
- 4ページ……○ボランティア紹介
 - 県民健康管理調査の「健康診査」とは？

病衣・付添寝具

清潔と快適をクリエイトする。

DOJINSHA

〔ご利用・お問合わせ先〕

株式会社 同仁社
医大リネン室

電話 024-547-1111
内線 3081

マチのほっとステーション

LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）
ローソン福島県立医科大学店（7号館内）

「パンダハウス」チャリティーバザーが開催されました

12月10日～11日の2日間、病院玄関ホールにおいて「NPO法人パンダハウスを育てる会」によるチャリティーバザーが開催されました。バッグや小物、アクセサリーなど会員による手作りの品々が展示されました。おかげさまでもちまして、たくさんの方にご来場いただき、大変盛況のうちに終了いたしました。

「パンダハウス」は医大病院の小児科に入院中の患者さんとそのご家族に“もうひとつのわが家”としてご利用いただけるようにと福島市蓬萊町に設立された宿泊施設です。現在では小児科に限らず、医大病院に入院・通院中の患者さんとそのご家族に外泊や休

息のため広くご利用いただいております。

「パンダハウス」は会員会費、今回実施されたバザー収益、一般の方からの募金、ボランティア・スタッフによるサポートにより運営されております。今後とも、パンダハウスへのご理解をいただきますようお願いいたします。

NPO法人パンダハウスを育てる会事務局 548-3711



語りと音楽 癒やしの時間

新美南吉生誕100周年記念
読み語りコンサート in 福島
Supported by 日清製粉グループ

2013年10月27日(日)
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 (慶賀ホール)
14:00 小児科病棟食堂 / 15:00 病院玄関ロビー

【読み語り】
「あふりん」の読み語り、手紙を書く会

【音楽演奏】
「あふりん」の音楽演奏、読み語り、あふりんの歌(新美南吉)
あふりん(新美南吉)、あふりんの歌(新美南吉)
あふりん(新美南吉)、あふりんの歌(新美南吉)
あふりん(新美南吉)、あふりんの歌(新美南吉)

今年は童話作家・新美南吉さんの誕生100周年です。これを記念して10月27日に医大附属病院1F玄関ロビーなどで「読み語りコンサート in 福島」が開催されました。

日清製粉グループのサポートにより全国で開催されており、今回は特に小児科に入院しているお子様や保護者を対象に小児科病棟食堂、また、一般の患者さんなどを対象に玄関ロビーで2回の公演が開催されました。

元NHKアナウンサーの山根基世さんによる朗読、「でんでんむしのかなしみ」では、「ある日でんでんむしは、自分の背中の殻の中に詰まった悲しみに気づきます。でも、それは自分だけではなかったと気づきます。そして、でんでんむしは嘆くのをやめるの

です。辛い時、私たちはついつい自分が一番不幸だと思ってしまうのですが、決してそうではありません。そしてそのことに気づいたとき、また一つ賢く強くなっているのです。」という大切なメッセージに多くの方が共感されていました。

また、NHK大河ドラマ「八重の桜」のテーマ曲も演奏し幅広く活躍するチェリストの藤原真理さんによるエルガーの「愛の挨拶」などの調べにじっくり耳を傾け、癒やしの時間を過ごしました。他にも郡山出身のソプラノ歌手緑川まりさん、ピアニスト緑川るみさん姉妹にもご出演いただきました。

ご出演いただいた方をはじめ、サポートしていただいた日清製粉グループ及び関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。



「地域連携」を進めています 地域連携部

「地域連携」という言葉をご存じでしょうか。「地域連携」とは、患者様に切れ目のない医療を提供するため、病院とかかりつけ医が役割を分担し、必要な情報を共有しながら、それぞれの持つ機能をより効率的に運用するための取組です。

当院は、高度で専門的な医療を提供する「特定機能病院」という役割を担っておりますので、地域の医療機関から専門医としての知識や高度な検査・治療あるいは入院を必要とする患者さんをご紹介いただき、当院における治療等が終了した段階で地域の医療機関に経過観察等をお願いすることになります。この「地域連携」を積極的に進めていくことで、当院に与えられた使命を果たすことができるものと考えております。

本年8月には、「地域連携」への取組をより確実なものとするため「連携登録医制度に関する要綱」を制定し、趣旨に賛同いただいた地域の医療機関の医師・歯科医師を「連携登録医」として位置付け、医療機関の機能に即した適切な医療を提供するための連携を開始したところです。

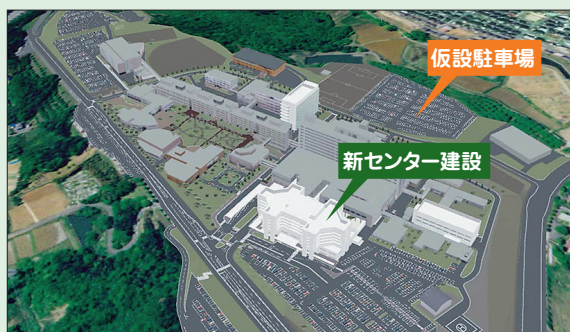
当院での検査や治療の結果、状態が安定した患者様には、ご希望のかかりつけ医や連携登録医に紹介させていただきます。

ふくしま国際医療科学センター整備に伴う仮設駐車場整備について

総務課 復興事業推進課

本学では、復興に向けた医療の拠点となる「ふくしま国際医療科学センター」の設立に向けて準備を進めており、平成26年4月から建物建設工事が開始される予定です。これに伴い、工事期間中、病院外来駐車場の一部が使用できなくなります。このため、不足する駐車スペースの代替として北側のグラウンドの一部を仮設駐車場として整備することとしております。仮設駐車場の利用期間は、平成26年4月～平成27年9月までの予定です。当院をご利用の皆様には、工事期間中何かとご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

新センター建設工事期間中のイメージ図(平成26年4月～平成27年9月)



食事で風邪予防を

医事課栄養管理係 栄養技師 松田克哉

朝晩がすっかり寒くなり、日々冬が近づいてくるのが感じられます。冬は寒さだけでなく乾燥によってウイルスが侵入し易くなり、体調をくずして風邪を引く人が増える時期です。風邪に負けない身体を作る基本は、バランスのよい食を心がける事です。また、ウイルスの侵入を防ぐには、外敵と戦う免疫機能を高めることが大切です。身体が温まり、血液循環がよくなるほど高まります。スープや鍋などの温かい料理や、身体を温める食品を食べて身体を冷やさないようにしましょう。

● 身体を温める食品 ●

ねぎ、にら、にんにく、玉ねぎ、生姜、唐辛子など

刺激成分や香味成分には消化を助ける働きや殺菌効果もあり、風邪予防に効果的です。のどが痛む時や胃腸の悪いときには控えましょう。

しょうが入り卵スープ

材料 (4人分)

- | | |
|-------------|---------------|
| ◆たまご …… 2個 | ◆中華だし …… 小さじ2 |
| ◆生姜 …… 15g | ◆しょうゆ …… 大さじ1 |
| ◆小ネギ …… 2本 | ◆ごま油 …… 小さじ1 |
| ◆水 …… 800cc | ◆片栗粉 …… 大さじ1 |



作り方

- ① 生姜は千切り、小ネギは小口切りにし、卵はよく溶きほぐす。
- ② 鍋に水と中華だし、生姜を入れ火にかける。
- ③ 沸騰したら水溶き片栗粉を入れてとろみをつける。
- ④ 卵を回し入れ、しょうゆ、ごま油を加え、小ネギをちらす。

より高精度な放射線治療「IMRT」が可能になりました

当院での放射線治療法の選択肢が増えました。従来の放射線治療より高精度な放射線治療法の一つである強度変調放射線治療(Intensity Modulated Radiation Therapy:IMRT)を平成25年10月より開始しました。

従来の方法では、腫瘍と感受性の高い正常組織が隣接する場合、正常組織をさけて腫瘍に十分な放射線を照射することは容易ではありませんでした。それを克服するためにできた放射線治療法がIMRTです。腫瘍の形に合わせ、放射線の強度を変化させて、放射線を腫瘍に集中させます。それにより放射線を当てたくない周囲の正常組織への放射線量(副作用)を低減させることが可能となります。

たとえば前立腺癌の場合、周辺臓器には直腸と膀胱があります。IMRTはこれらの臓器への放射線量を低減させることで、放射線治療による副作用をできる限り抑えながら、腫瘍に対してより強い治療を行うことができます。

現在、放射線治療部門では、放射線治療医師、放射線治療担当看護師、放射線治療担当放射線技師、医学物理士、

受付と多職種が協力し合い、チーム医療で患者さんのがん治療と全力で向き合っています。週2回のカンファレンスにて、治療計画の方針を議論したり、治療中の患者さんの状態の共有を図りより良い放射線治療を提供できるように努めています。



平成25年11月現在、当院でのIMRTを行っているのは前立腺癌だけですが、今後適応疾患を拡大予定です。治療についての詳細については放射線治療部門にお問い合わせください。

問い合わせ先、放射線治療担当医：佐藤久志(内線6649)

医事課栄養管理係の活動報告

医事課



11月13日の11時15分から、4階病棟の食堂にて、須賀川養護学校医大分校の主催する学級活動「大切な私たちの食事」が行われました。子ども栄養管理係は、栄養士の講話という形で協力させていただきました。

最初に担当の栄養士から、肉や野菜などの食べ物がある風に私たちの体に役に立っているかお話しさせていただきました。参加した子供さんたちは、目を輝かせながら一生懸命聞き入っていました。その後、説明内容のクイズをした時も、みんなたくさん手を挙げて元気に答えてくれました。「みんなの血や肉をつくる食べ物はなんでしょう。」「はい、魚です。」「そう、魚ですね。よくできました。」

お勉強の後はいよいよお待ちかねのお昼ごはんです。みんな手を洗った後に、栄養管理係の調理師が一生懸命作ってくれた食事を、とっってもおいしそうに食べていました。その日はうど



んだだったので、かわいらしい手つきで、一生懸命うどんを口に運んでいました。また、栄養士との会話も弾んでいたようです。「〇〇ちゃんの好きな食べ物はなあに?」「しゃけが好き。」「お魚好きなの。」「うん。皮も食べるよ。」「ええー、すごいね。」

楽しかったひと時も終わり、「ごちそうさま」をして食事を終りましたが、ご飯を食べた後はみんなきちんとお膳のお片づけをしていました。何も言われていないのに、きちんと後片づけをしているので、非常に感心しました。

今回の子供さんたちの様子を見て、子供さんをはじめ、入院患者さんたちに少しでも「おいしい。」と言っていただけのような食事を提供できるよう、さらに努力していかなければならないと、肝に銘じられた学級活動でした。

ボランティア紹介～酒井伸子さん

「けやきの会」 和田裕子



酒井伸子さんをご紹介します。酒井さんは、医大病院のボランティアが始まったときからの超ベテランで、15年もの長きにわたってコンスタントにボランティア活動をされてきたことが評価され、昨年には福島県社会福祉協議会会長・感謝、今年には同・表彰を授賞されました。誰にでも気さくな酒井さんで、私も、ボランティア初日からずっとお世話になっています。現在は、体調を壊されて自宅療養中です。

医大病院でボランティアをしようと思ったきっかけは？

ボランティアをはじめたのは平成10年2月9日です。仕事をやめて何をしようかと思っていた頃、マスコミでは介護の話がよくとりあげられていて、ちょうど介護の講習会（3～4ヶ月、週1）があったので参加しました。

そして、その講習会が終わる頃、新聞に、医大病院のボランティア募集を見つけ、以前、知り合いが入院して手伝いをしたこともあったので、少しは勝手もわかると思い、応募しました。偶然に、ぼんぼんぼんと調子よく。月2回からはじめて、少し時間ができからは週1にしました。

どんなボランティアを目指して？

今、お話ししたように、仕事をやめた頃だったので、時間があって、

でも何もしないではいけないということ。

だから、ボランティアは患者さんのためというより、正直いうと自分のためなんです。そのことがちょっと申し訳ないなと思っていますんですけど。

実際、患者さんをお連れして歩いたりお話ししたりできるので、結構自分にとってはいいんですけど、おしゃべりが過ぎて迷惑かけていることもあるかなと、ちょっと反省しています。

失敗したことは？

いっぱいあります！（笑）

患者さんのお手伝いは、あまり積極的にやってもリハビリなどの邪魔になることもあるし、かといって見過ごしていることもあるかもしれない、機転が利かないから、加減を見極めるのが難しいですね。

今後の目標は？

今は、体調を崩して休んでいますが、まずは、健康を取り戻して、徐々に現場に戻っていきたくと思っています！

このニュースレターが印刷されるころには、また緑のエプロンを掛けて病院の入口に立っておられることを願っています！

県民健康管理調査の「健康診査」とは？

東日本大震災と、東京電力福島第一原子力発電所事故により、多くの県民の皆さまが、突然避難を余儀なくされ、これまでとはまったく異なる日常生活を送らざるを得ない状況になっています。

それに伴い、食生活や運動習慣などの生活習慣にも大きな変化があったり、健康診査も受けることができなくなったりして、ご自分の健康に不安を抱えている方も多いかと思われます。

福島県では、県民の皆さまの健康管理を図るために、長引く避難生活や放射線への不安などが健康に及ぼす影響の調査のみならず、健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげていくことが必要であると考え、平成23年時の警戒区域等、国が指定した避難区域等（以下「避難区域等」）の方々について、健康診査を実施することにしました。

対象は、避難区域等^(注)の住民の方、および「基本調査」の結果、健康診査が必要と認められた方です。

健康診査の項目は、年齢によって異なります。

年齢区分	検査項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、血算(赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画)
7歳～15歳 (小学校1年生～ 中学校3年生)	身長、体重、血圧、血算(赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画) [希望による追加項目] 血液生化学(AST、ALT、γ-GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、空腹時血糖、血清クレアチニン、尿酸)
16歳以上	身長、体重、腹囲(BMI)、血圧、血算(赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画) 尿検査(尿蛋白、尿糖、尿潜血) 血液生化学(AST、ALT、γ-GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、空腹時血糖、血清クレアチニン、eGFR、尿酸) ※ 赤字部分は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

注：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域、および伊達市の一部(特定避難勧奨地点の属する区域)

「健康診査」のよくあるお問い合わせはこちら

<http://fukushima-mimamori.jp/qanda/physical-examination/>

訂正

第23号「おこめ」の記事で、執筆者名が「医事課栄養管理係 栄養技師 飛松聡」氏とあるのは「医事課栄養管理係 主査 高倉好和」氏の誤りでした。



すべてを地域のために
東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間:平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

